

2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 ユニオンツール株式会社 上場取引所

東

コード番号 6278 URL www.uniontool.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 片山 貴雄

(アナリスト、機関投資家向け)

(TEL) (03) 5493-1017

半期報告書提出予定日

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 倉田 憲昌 2024年8月7日

2024年9月5日

:有

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無

決算説明会開催の有無 :有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利	益	親会社株主 する中間	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	15, 794	28. 2	3, 108	51.7	3, 362	55. 4	2, 527	56. 0
2023年12月期中間期	12, 318	△19.6	2, 048	△41.8	2, 164	△40.8	1, 620	△37.8

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 5,222百万円(52.2%) 2023年12月期中間期 3,431百万円(△32.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円 銭	円 銭	Ī
2024年12月期中間期	146. 30	_	.
2023年12月期中間期	93. 79	_	.

(2) 連結財政状態

(=) (C.1877) × (V.05)						
	総資産	純資産	自己資本比率			
	百万円	百万円	%			
2024年12月期中間期	77, 260	71, 775	92. 9			
2023年12月期	70, 605	67, 279	95. 3			

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 71,775百万円 2023年12月期 67,279百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭			
2023年12月期	_	42. 00	_	42. 00	84. 00			
2024年12月期	_	45. 00						
2024年12月期(予想)			_	45. 00	90. 00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利:	益	経常利:	益	親会社株主 する当期料	に帰属 記利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30, 000	18. 4	6, 400	69.4	6, 700	64. 5	4, 600	49.4	266. 28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
① ①以外の会計方針の変更
: 無
④ 修正再表示
: 無

(注)詳細は、添付資料の9ページ「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2024年12月期中間期	19, 780, 000株	2023年12月期	19, 780, 000株
2024年12月期中間期	2, 505, 021株	2023年12月期	2, 504, 841株
2024年12月期中間期	17, 275, 112株	2023年12月期中間期	17, 275, 348株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. ≝	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	2
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4)	剰余金の配当及び配当予想の修正について	3
2. 🖣	中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	中間連結貸借対照表	4
(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(会計方針の変更)	9
	(セグメント情報等)	9
	(重要な後発事象)	9
3. 衤	甫足情報	10
(1)	部門別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
(2)	海外売上高	10
(3)	為替換算レート	10
(4)	設備投資、減価償却費および研究開発費の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間は、世界的な金融政策の引き締め、急激な為替変動、中国経済の先行き懸念などから、世界経済の回復に減速感が見られました。また、長期化するウクライナ情勢に起因する原材料価格の高止まり、中東における地政学的リスクなど、依然として先行き不透明な状況となりました。当社グループに関連深い電子機器業界では、生成AI関連市場が国内外で拡大し、この動きに連動したデータセンターに設置されるサーバー向けパッケージ基板および高多層基板への需要拡大の状況が継続しました。当社グループにおいては、高付加価値工具への需要が急速に増加し、生産設備の自社開発を活かした生産能力の増強と拠点間の連携強化により対応してまいりました。

収益面では、生産拠点での稼働率向上による原価低減効果から、売上総利益段階から収益力を改善し、高い利益率を確保しております。主要取引通貨の円安進行の影響もあり、当期間の売上高は15,794百万円(前年同期比28.2%増)と大幅な増収となりました。営業利益は3,108百万円(同51.7%増)、経常利益は3,362百万円(同55.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2,527百万円(同56.0%増)となりました。

次にセグメント別の状況ですが、日本地区では、生成AI関連市場の拡大により好調な業績をあげることができました。この地区での売上高(セグメント間取引消去額を含む。以下同じ。)は10,735百万円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,407百万円(同96.4%増)となっております。

日本を除くアジア地区では、生成AI関連市場の拡大による当社グループの高付加価値工具への需要の高まりと現地工場での稼働率が向上したことから、売上高は8,423百万円(同51.3%増)となり、セグメント利益は626百万円(前年同期6百万円)となっております。

その他、北米地区の売上高は1,020百万円(同15.3%増)、セグメント利益は105百万円(同28.9%増)となり、欧州地区の売上高は1,232百万円(同3.7%増)、セグメント利益は130百万円(同77.5%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は77,260百万円(前連結会計年度末比6,655百万円増)となりました。

流動資産合計は43,424百万円(同3,884百万円増)となりました。主な変動項目は、現金及び預金(同1,657百万円増)、受取手形及び売掛金(同1,840百万円増)および棚卸資産(同340百万円増)であります。

固定資産合計は33,835百万円(同2,770百万円増)となっております。このうち、有形固定資産合計は25,653百万円(同1,190百万円増)となっております。主な変動項目は、建物及び構築物(純額)(同2,675百万円増)および建設仮勘定(同1,745百万円減)であります。投資その他の資産合計は8,098百万円(同1,579百万円増)となっております。主な変動項目は、投資有価証券(同1,562百万円増)であります。

負債合計は5,484百万円(同2,159百万円増)となりました。流動負債合計は4,863百万円(同2,161百万円増)となりました。主な変動項目は、未払費用(同199百万円増)、未払法人税等(同1,198百万円増)および賞与引当金(同513百万円増)であります。固定負債合計は621百万円(同2百万円減)となりました。主な変動項目は、その他(同13百万円減)によるものであります。

純資産合計は71,775百万円(同4,495百万円増)となりました。株主資本合計が62,856百万円(同1,800百万円増)、その他の包括利益累計額合計が8,918百万円(同2,694百万円増)となっております。主な変動項目は、その他有価証券評価差額金(同778百万円増)、為替換算調整勘定(同1,955百万円増)であります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,724百万円増加し20,984 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,281百万円の収入(前年同期は2,777百万円の収入)となっております。 主なキャッシュ・イン項目は、税金等調整前中間純利益3,385百万円および減価償却費1,383百万円であり、主な キャッシュ・アウト項目は、売上債権の増減額1,216百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2,247百万円の支出(前年同期は2,478百万円の支出)となっております。 主なキャッシュ・アウト項目は、有形固定資産の取得による支出2,060百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは816百万円の支出(前年同期は800百万円の支出)となっております。主なキャッシュアウト項目は配当金の支払額725百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。

当社グループに関連深い電子機器業界では、新たな成長領域となる生成AI関連市場の需要が国内外で拡大しており、当社グループの高付加価値工具も連動して需要増加が続いております。中間連結会計期間の売上高は、主要取引通貨の円安進行の影響もあり、過去最高額を更新し、利益項目につきましても業績予想値を大きく上回る結果となりました。従来の主力分野となるロジック半導体向け、メモリー向け需要の回復状況は不透明ではあるものの、業界全体の動向としては、下期以降もこのような事業環境の継続が見込まれることから、本日、通期業績予想値の増額修正を公表するものであります。なお、業績予想の前提となる換算為替レートを従来の米ドル140円、人民元20円から米ドル130円、人民元19円に変更しております。

当社グループは引き続き生産設備の自社開発を活かした生産能力の増強と拠点間の連携強化によるグローバルな生産管理体制をもって、更なる業績の向上に努める所存であります。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回想定(A)	28, 900	5, 500	5, 800	4, 300	248.91 円
今回修正後 (B)	30,000	6, 400	6, 700	4,600	266.28 円
増減額(B-A)	1, 100	900	900	300	_
増減率(%)	3.8	16. 4	15. 5	7. 0	_

(4) 剰余金の配当及び配当予想の修正について

本日開催の取締役会において、2024年12月期の中間配当額を1株当たり45円(総額777百万円。5月13日付開示予想値42円に対して3円増額。)と決定いたしました。年後半においても堅調な業績推移が見込まれることから通期の業績予想を上方修正しましたので、株主還元の一層の充実を果たすため当事業年度の期末配当額も従来の42円の開示予想値から45円に修正し、年間の配当金を1株当たり90円とすることといたしました。なお、この年間配当額と通期業績予想値から算出される配当性向は33.8%になるものであります。

A. 剰余金の配当について (2024年12月期中間配当)

11. 利水並の配当について(2025年12月初中間配当)						
	決定額	直近の配当予想 (2024年 5 月13日公表)	前期実績 (2023年12月期中間)			
基準日	2024年6月30日	同左	2023年6月30日			
1株当たり配当金	円 銭 45.00	円 銭 42.00	円 銭 42.00			
配当金総額	777百万円	_	725百万円			
効力発生日	2024年9月5日	_	2023年9月5日			
配当原資	利益剰余金	_	利益剰余金			

B. 配当予想の修正について

		年間配当金			
	第2四半期	期末	合計		
前回予想 (2024年5月13日)	円 銭 42.00	円 銭 42.00	円 銭 84.00		
今回修正予想	-	45. 00	90.00		
当期実績	45. 00	_	_		
前期実績 (2023年12月期)	42. 00	42. 00	84. 00		

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19, 376	21, 034
受取手形及び売掛金	8, 429	10, 270
有価証券	695	556
商品及び製品	6, 081	6, 171
仕掛品	1, 117	1, 308
原材料及び貯蔵品	3, 314	3, 373
その他	548	739
貸倒引当金	△24	△28
流動資産合計	39, 539	43, 424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6, 252	8, 927
機械装置及び運搬具(純額)	9, 009	9, 061
工具、器具及び備品(純額)	367	504
土地	5, 996	6, 072
建設仮勘定	2, 516	770
その他(純額)	320	316
有形固定資産合計	24, 462	25, 653
無形固定資産	84	84
投資その他の資産		
投資有価証券	6, 105	7, 668
その他	451	472
貸倒引当金	△37	△41
投資その他の資産合計	6, 518	8, 098
固定資産合計	31, 065	33, 835
資産合計	70, 605	77, 260

(単位:百万円)

		(単位・日ガ刊)
	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	652	837
未払金	146	233
未払費用	907	1, 107
未払法人税等	28	1, 227
契約負債	32	25
賞与引当金	571	1, 085
その他	363	346
流動負債合計	2, 701	4, 863
固定負債		
長期未払金	219	219
退職給付に係る負債	25	36
その他	378	364
固定負債合計	624	621
負債合計	3, 325	5, 484
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 998	2, 998
資本剰余金	3, 020	3, 020
利益剰余金	61,772	63, 574
自己株式	△6, 736	△6, 736
株主資本合計	61, 055	62, 856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 477	2, 256
為替換算調整勘定	4, 473	6, 429
退職給付に係る調整累計額	272	232
その他の包括利益累計額合計	6, 223	8, 918
純資産合計	67, 279	71, 775
負債純資産合計	70, 605	77, 260

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12, 318	15, 794
売上原価	7,720	9, 613
売上総利益	4, 598	6, 180
販売費及び一般管理費	2, 549	3, 072
営業利益	2, 048	3, 108
営業外収益		
受取利息	28	41
受取配当金	62	67
為替差益	_	160
固定資産賃貸料	24	26
補助金収入	65	22
助成金収入	43	36
その他	29	20
営業外収益合計	254	373
営業外費用		
支払利息	4	7
減価償却費	21	18
為替差損	29	_
支払手数料	55	70
租税公課	7	9
その他	21	14
営業外費用合計	138	119
経常利益	2, 164	3, 362
特別利益		
投資有価証券売却益	38	22
特別利益合計	38	22
税金等調整前中間純利益	2, 202	3, 385
法人税、住民税及び事業税	424	1, 220
法人税等調整額	157	△362
法人税等合計	582	858
中間純利益	1,620	2, 527
非支配株主に帰属する中間純利益		
親会社株主に帰属する中間純利益	1,620	2, 527

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	1,620	2, 527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	544	778
為替換算調整勘定	1, 285	1, 955
退職給付に係る調整額	△19	△39
その他の包括利益合計	1,810	2, 694
中間包括利益	3, 431	5, 222
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3, 431	5, 222
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2, 202	3, 385
減価償却費	1, 290	1, 383
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	2
受取利息及び受取配当金	△91	△108
支払利息	4	7
為替差損益(△は益)	△99	△114
売上債権の増減額(△は増加)	1, 402	$\triangle 1,216$
棚卸資産の増減額(△は増加)	139	234
仕入債務の増減額(△は減少)	△305	36
投資有価証券売却損益(△は益)	△38	$\triangle 22$
賞与引当金の増減額(△は減少)	25	499
未払消費税等の増減額(△は減少)	32	△48
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△113	△164
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△272	247
その他	△28	△39
小計	4, 140	4, 081
利息及び配当金の受取額	85	104
利息の支払額	$\triangle 4$	$\triangle 7$
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1, 445	102
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 777	4, 281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2, 396	△2,060
有価証券の売却及び償還による収入	_	287
投資有価証券の取得による支出	_	△600
投資有価証券の売却及び償還による収入	89	36
その他	△172	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2, 478	$\triangle 2,247$
対務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	\triangle (
配当金の支払額	△725	△725
その他	△75	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800	△816
見金及び現金同等物に係る換算差額	307	507
見金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194	1,724
見金及び現金同等物の期首残高	20, 928	19, 259
現金及び現金同等物の中間期末残高	20, 733	20, 984

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

切削工具の原材料について、従来、移動平均法による原価法を採用しておりましたが、当中間連結会計期間の期首より総平均法による原価法に変更しております。

この評価方法の変更は、原価計算システムの刷新を契機に、棚卸資産の評価及び期間損益計算をより迅速かつ適正に行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	中間連結
	日本	アジア	北米	欧州	計) (注1)	損益計算書 計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	4, 994	5, 250	885	1, 189	12, 318	_	12, 318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3, 545	315	0	_	3, 860	△3,860	_
=	8, 539	5, 565	885	1, 189	16, 179	△3,860	12, 318
セグメント利益	1, 226	6	81	73	1, 387	661	2, 048

- (注) 1 セグメント利益の調整額 661百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
 - 2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

							<u> </u>
	報告セグメント						中間連結
	日本	アジア	北米	欧州	計	調整額 (注1)	損益計算書 計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	5, 514	8, 026	1,020	1, 232	15, 794	_	15, 794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5, 221	396	_	0	5, 617	△5, 617	_
=	10, 735	8, 423	1,020	1, 232	21, 411	△5, 617	15, 794
セグメント利益	2, 407	626	105	130	3, 270	△162	3, 108

- (注) 1 セグメント利益の調整額 △162百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
 - 2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 部門別の状況

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	切削工具事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	14, 310	1, 483	15, 794	_	15, 794
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_
□	14, 310	1, 483	15, 794	_	15, 794
営業利益	3, 015	162	3, 178	△69	3, 108

(2) 海外売上高

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	8, 981	986	1, 173	73	11, 214
Ⅱ 連結売上高(百万円)					15, 794
Ⅲ 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	56.9	6.2	7.4	0.5	71. 0

(3) 為替換算レート

		US\$	EUR	NT\$	RMB
前中間連結会計期間	実績	144. 99円	157.60円	4.66円	19.94円
当中間連結会計期間	実績	161. 07	172. 33	4. 95	22. 04
前連結会計年度	実績	141. 83	157. 12	4. 62	19. 93
当連結会計年度(計画)	計画	130.00	140.00	4. 30	19.00

(4) 設備投資、減価償却費および研究開発費の状況

	設備投資	減価償却費	研究開発費
前中間連結会計期間	1,355百万円	1,290百万円	839百万円
当中間連結会計期間	3, 720	1, 383	993
前連結会計年度	2, 825	2, 717	1, 742
当連結会計年度(計画)	6, 169	2,750	1, 958